

一〇一五年五月一七日

パドックの栗毛の気合汗光る
薰風や水面のみどり揺れやまず
瀬しぶきに零の光る歯朶涼し
おつちやんの怒号も走る草競馬
藤棚の風に煌めく洩れ日かな
出走待つ緊張感や馬場薄暑
水底の石にはりつく蝌蚪の群
女騎手人気薄なる草競馬
木洩日の大樹の根方著莪淨土
鞭一打勝馬目指す走りかな
競馬場夏空高く日章旗
重馬場の野花活けたる竹の籠
五月晴駿馬見定むパドックへ
初めての馬券的中汗握る

こすもす

澄子

康子

もとこ

康子

よう子

なつき

うつぎ

むべ

わかば

ぼんこ

澄子

うつぎ

わかば

よう子

定例WEB句会みのる選

一〇一五年五月一七日